

- オンライン開催 (Zoom)
- 日本語のみ
- 参加費無料

今後の気候変動対応と ウクライナ危機

第4回 OECC橋本道夫記念シンポジウム

2022年6月10日 (金) 14:30開始

今後の気候変動対応とウクライナ危機

近年世界は、カーボンニュートラルやSDGsの達成に向け、大きな変貌を遂げている中、先般IPCC第6次評価報告書が取りまとめられ発表され、気候変動対策が引き続き喫緊の課題であることを再認識させられました。海外環境開発協力分野に長く取り組んできた我々として、この報告書からのメッセージをどのように受け止め、今後の活動にどのように反映させていくべきか、とりわけSDGs達成、「環境インフラ海外展開プラットフォーム（Japan Platform for Redesign: Sustainable Infrastructure：JPRSI）」への更なる取組、自然との共生等の観点から、どのような行動が求められているかについて議論します。

また、昨今のウクライナ危機やコロナ禍への対応等、国際社会・経済が激変・複雑化する中で、海外環境開発協力分野において、どのような対応をしていくべきかについて考える糸口を探ります。

14:30

開会セッション

開会挨拶

竹本 和彦 OECC 理事長

来賓挨拶

中井 徳太郎 環境省 環境事務次官

14:45

基調講演

「今後の気候変動対応とウクライナ危機」

三村 信男 OECC会長、茨城大学 地球・地域環境共創機構 特命教授、
IPCC/AR6 WG2レビューエディター

15:25

休憩

15:45

パネルディスカッション

○パネリスト

水谷 好洋 環境省 国際脱炭素移行推進・環境インフラ担当参事官

岩崎 英二 JICA地球環境部 部長

三村 信男 OECC 会長

○コメンテーター

亀山 康子 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授／
国立環境研究所 社会システム領域 上級主席研究員

森田 香菜子 森林総合研究所 生物多様性・気候変動研究拠点 主任研究員
／慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任講師

西川 絢子 環境省 地球環境局 国際脱炭素移行推進・環境インフラ担当
参事官室 インフラ推進官

加藤 真 OECC 理事、業務部門長

○ファシリテーター

竹本 和彦 OECC 理事長

17:00

閉会

[申込はコチラから⇒](#)

